

令和4年度 南あわじ市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について



- 1 認知症地域支援推進員：4名
- 2 認知症地域支援推進員の役割

- 認知症に関する正しい知識の普及（認知症サポーター・キャラバンメイトの支援）
- ケアパスの活用と普及
- 見守り・SOSネットワーク事業（模擬訓練を含む）の推進
- 認知症疾患医療センターを含む医療機関、介護サービス事業者等関係者との連携体制構築
- 認知症カフェへの支援
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症（若年性含む）の当事者支援・家族支援

報告者氏名： 眞野 多江

南あわじ市認知症施策全体図

認知症相談センターの設置
(認知症地域支援推進員の配置)

①早期発見・早期対応・予防

認知症チェックシートの普及

認知症初期集中支援チーム

検討委員会

しゃきしゃき百歳体操

②医療連携体制の構築

認知症疾患医療センター・
南あわじ市医師会との連携

認知症ケアネット
(ケアバス)の活用

「認知症になっても安心して
暮らし続けることのできるまち」
南あわじ市



④地域支援体制の構築

高齢者等の
見守り・SOSネットワーク
ネットワーク連絡会

認知症サポーター養成講座
・ステップアップ講座
キャラバンメイト連絡会

③家族・本人支援

認知症を支える家族の会「スマイル」

スマイル(認知症)カフェ

標題 南あわじ市における高齢者等の見守り・ SOSネットワークの充実に向けて

課題

- 認知症の相談が増加
- 行方不明になる高齢者の増加
- 市民の認知症に対する理解不足
- 認知症施策について市民に良く知られていない

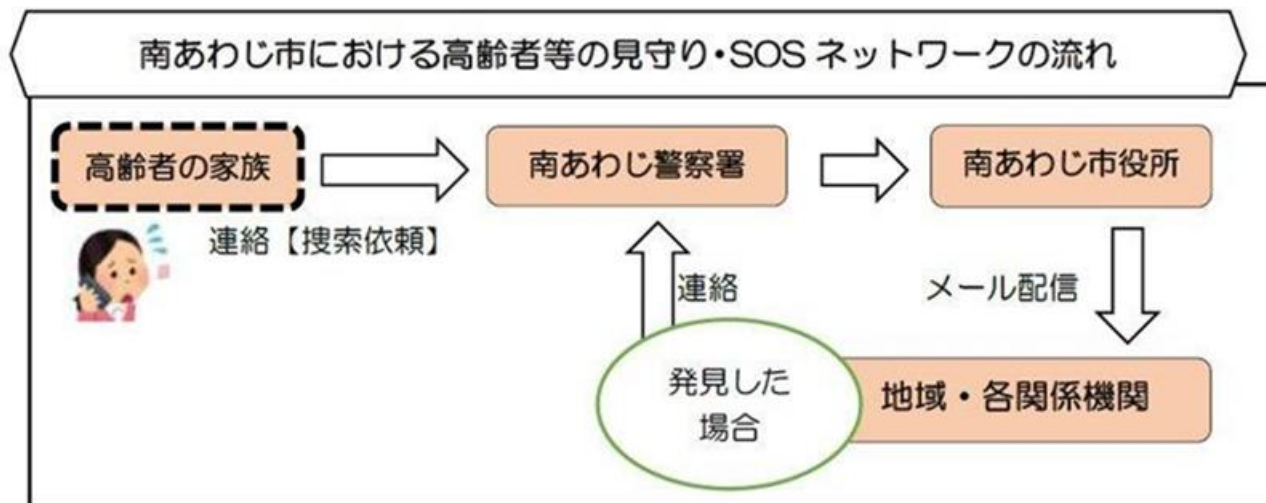


市民に広く周知する必要性を実感



高齢者等の見守り・SOSネットワークについて

- ・ 認知症等により所在不明になる可能性のある方を事前にご本人の身体的特徴や連絡先、写真などを登録し、行方不明になった際に、登録された情報を元に各関係機関や協力機関等が検索するものです。
- ・ 事前登録することにより、早期発見や日頃の見守りができるため、ご本人・ご家族の方の安心につながります。



南あわじ市における高齢者等の見守り・SOSネットワークの充実に向けて

～他市の事例を参考とした「見守りQRシール」導入検討～



事業概要・流れ

地域包括にて「見守りSOSネットワーク」に登録の際、
「見守りQRシール」を配布

家族で衣類カバン靴などの所持品にシールを貼っていただく

行方不明～発見・通報

保護、登録しておいた個別番号で身元特定を速やかに行う

QRコードには南あわじ警察の連絡先が掲載され、個人情報是不分らない仕組みになっています。

シールを貼ることで認知症高齢者の尊厳が損なわれたり、トラブルに巻き込まれる可能性もあるため対象者の状況に応じて慎重に使用を見極め、導入を検討したいと考えます。

「認知症になっても安心して暮らし続けることのできるまち」南あわじ市を目指して

今後の取組

- 施設や団体との連携を強化し協力機関を増やす
- 模擬訓練等を実施し地域の方々が認知症を正しく理解し、見守り体制を構築
- 認知症や認知症施策の普及啓発



• 最後に・・・

認知症は誰にでも起こりうるものです。認知症になっても住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続できるように本人や家族の立場に立った地域づくりを目指します。